

第3回とちぎ夢大地応援団活動報告(令和3年11月6日実施)

茂木町 飯地区「ミツマタ管理作業」

茂木町飯地区で令和3(2021)年度第3回とちぎ夢大地応援団活動を行いました。秋らしい晴天でしたが、やや肌寒い朝となりました。

今回の参加者は、応援団員20名、関係者19名の計39名でした。

会場には、茂木町の滝田課長や(一社)茂木ツーリスト谷中会長も応援に駆けつけました。

当日の作業は伐採したミツマタの枝木の搬出作業と遊歩道の整備でしたが、2チームに分かれ、効率よく作業を進めることが出来ました。

ミツマタの搬出チームでは、予め、焼森山ミツマタ保全協議会のスタッフの方々が、ミツマタの伐採を済ませていたために、伐採し切り分けた枝木を荒縄で縛り、これを運搬するトラックまで運び出す作業でした。

普段、山道を歩かない方や前屈みで荒縄を縛り付ける作業に四苦八苦する場面も見られましたが、ケガをする事も無く、無事に作業をやり遂げました。

また、遊歩道の整備を担当したチームでは、歩道に覆い被さる草木や土砂をスコップで均一になりました。

昼食時には、いい里さかがわ館で販売しているこの地区でとれる旬の野菜がたっぷりと入った“さかがわの昼めし”が振る舞われ、とちぎ夢大地応援団活動を十分に満喫する事が出来ました。



▲秋らしい、清々しい陽気でした。



茂木町滝田課長から、「先人が築いた茂木町の観光名所にはボランティアの力が必要です。一緒にこの地区を盛り上げましょう！」とお話がありとちぎ夢大地応援団活動に賛同する意向をいただくことが出来ました。これからの活動がとても楽しみです。



ミツマタの搬出作業のチームの様子です。一度に沢山の枝木を縛り、黙々と運び出します。朝の湿気で、重くなった枝は、とても滑りやすく、最初は、上手に縛ることが困難な様子でした。皆さんコツをつかむと速やかに縛り上げられるようになり、効率的に運び出すことができました。



御覧のとおり、沢山の枝木を抱え、急な山道も小走りで運び出しました。今回御参加いただいた高倉さんは、「私にとって夢大地応援団活動はライフワークになっている。今後も都合を合わせ参加していきたい」と心強い言葉をいただきました。



遊歩道の清掃作業チームの様子です。草木や土砂が遊歩道を覆い尽くしています。初めて御参加いただいた方も沢山いらっしゃいましたが、皆さん力を合わせ活動を進めていきました。大学生の薄井さんから「初めての活動でしたが、皆さんの力になれて嬉しい」と感想をいただきました。